

大和地区防災計画

令和3年1月作成

大和地区自主防災組織

(目次)

| | | |
|---|------------------|---|
| 1 | 目的 | 1 |
| 2 | 基本方針 | 1 |
| 3 | 地域の特性 | 1 |
| | (1) 過去の災害 | 1 |
| | (2) 今後予想される災害 | 1 |
| 4 | 活動内容 | 2 |
| | (1) 組織の編成及び役割分担 | 2 |
| | (2) 平常時の取り組み | 2 |
| | (3) 災害時の取り組み | 5 |
| | (4) 要配慮者の避難支援 | 7 |
| | (5) 他組織との連携 | 7 |
| 5 | 活動体制 | 7 |
| | (1) 本部の活動体制 | 7 |
| | (2) 各支部・各班の活動体制 | 8 |
| 6 | 活動目標と推進計画（5か年計画） | 8 |

資料編

大和地区防災計画

1 目的

この計画は、大和地区における防災活動に必要な事項を定め、地震その他の災害による、人的、物的被害の発生及びその拡大を防止することを目的とする。

2 基本方針

地区住民の隣保共同の精神により、地震・水害その他の災害による被害の最小化を図る「減災」の考え方を取り入れ、人命が失われないことを最重視した対策を講じることを基本方針とする。

また、防災対策は、自分の命は自分で守る「自助」を実践した上で、地域で助け合う「共助」に努めることとし、行政による「公助」での補完体制を基本として防災活動を実施する。

3 地域の特性

大和地区は、大和川と肱川の合流地点の周辺と、大和川の中流地点沿いの急傾斜地に面した地域である。大和川は、出石山（標高 812m）を源流とする距離の短い急流であり、豪雨により短時間で増水する危険を含んだ川である。

(1) 過去の災害

昭和 43 年 8 月 26 日、降雨量 263 ミリ、深夜 2 時から 3 時の間は 86 ミリを記録した集中豪雨により、大和川が氾濫した。上流で発生したがけ崩れによる大量の土砂や流木が上流の橋を押し流し、下流の橋（旧大和小学校前の愛生橋）の中央橋脚を破壊した。この橋が堰となり、多量の水が住宅地に溢れ出した。これにより多数の家屋で床上浸水、自動車の流出など甚大な被害が発生した。しかしながら、幸いにも人命に関わる被害は無かった。

(2) 今後想定される災害

- ゲリラ豪雨発生による本流及び大和川の氾濫による浸水被害
- 巨大地震による建物の倒壊及びそれに付随する火災及び地滑り危険地域等の土砂崩れ被害
- 本地域は伊方原発から 30 km 圏内にあるため、放射能汚染からの避難も想定しなければならない。

土砂災害危険箇所及び堤防決壊による予想浸水深図（資料 1）

地震震度想定図（資料 2）

原子力災害避難区域図（資料 3）

4 活動内容

防災活動は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神のもとに取り組むこととし、平常時と災害発生後とでは活動内容が異なることから、活動項目を平常時と災害発生時の2つに分けて作成する。

(1) 組織の編成及び役割分担

災害発生時の応急活動を迅速かつ効果的に行うため、また、平常時の活動もより円滑に行うため、次の通り防災組織を編成する。

大和地区自主防災組織図兼連絡網 (資料4)

(2) 平常時の取組

ア 防災知識の普及・啓発

地域住民の防災意識を高めるため、次により防災知識の普及・啓発を行う。

① 普及・啓発事項

- 防災組織及び地区防災計画に関すること。
- 地震・火災・風水害等についての知識に関すること。
- 各家庭における防災上の留意事項に関すること。
- 地震発生直後72時間における活動の重要性に関すること。
- 食料等を7日分(最低3日分)確保することの重要性に関すること。
- その他防災に関すること。

② 普及・啓発の方法

- 広報誌、パンフレット、リーフレット、ポスター等の配布
- 座談会、講演会、映画上映会等の開催
- パネル等の展示

③ 実施時期

火災予防運動期間、防災の日等防災関係諸行事実施期間中に行うほか、他の催し物に付随する形式で隨時実施する。

イ 地域の災害危険の把握

災害予防に資するため、次により地域固有の防災問題に関する把握を行う。

① 把握事項

- 危険地域、区域等
- 地域の防災施設、設備
- 地域の災害履歴、災害に関する伝承

- 大規模災害時の消防活動
- ② 把握の方法
 - 市等の地域防災計画
 - 座談会、講演会、研修会等の開催
 - 災害記録の編纂
- ウ 防災資機材の整備
 - 消火用品、救助用品、救急用品などの各防災資機材の整備を行う。

防災資機材一覧（資料 5）

- エ 備蓄物資の確保
食料品、飲料水など各備蓄物資の確保を行う。

災害用備蓄物資一覧（資料 6）

- オ 防災訓練
大地震等の災害発生に備えて、情報の収集・伝達、消火、避難等を迅速かつ的確に行うことが出来るようにするため、次により防災訓練を実施する。

- ① 個別訓練の種別
 - 情報収集・伝達訓練 ○消火訓練 ○避難訓練 ○救出・救護訓練 ○給食・給水訓練
- ② 総合訓練
 - 総合訓練は、2以上の個別訓練について総合的に行うものとする。
- ③ 体験・イベント型訓練
 - 防災を意識せずに災害対応能力を高めるために行うものとする。
- ④ 図上訓練
 - 実際の災害活動に備えるために行うものとする。
- ⑤ 訓練実施計画
 - 訓練の実施に際しては、その目的、実施要領等を明らかにした訓練実施計画書を作成する。
- ⑥ 訓練の時期及び回数
 - 原則として春季及び秋季火災予防運動期間中又は防災の日に実施する。
 - 総合訓練にあっては年1回以上、個別訓練にあっては隨時実施する。

力 人材育成

防災に関する知恵の伝承や、地域のリーダーを育成していくことは地域の防災力を高め、持続していくために大変重要である。

そこで、消防団や各種団体・学校等と連携した防災教育や防災訓練の実施、また、防災士の資格取得講座の受講推進など、積極的な地域の人材育成に努める。

キ 要配慮者対策

災害における被災者の大半は高齢者であることから、災害時における高齢者や障害者への支援対策は重要な課題である。

そこで、地域内の要配慮者を把握するため状況調査を行い、災害時避難の際の支援者をあらかじめ依頼するなどの対策が必要である。

- ① 行政、民生委員、児童委員、訪問介護者、ボランティア、自治会等と連絡を取り合って要配慮者等の把握をする。（個人のプライバシーに配慮）
- ② 要配慮者の避難誘導、救出・救護方法の検討
要配慮者に対する円滑な避難誘導や効果的な救出・救護活動についてあらかじめ検討し訓練に反映させる。

ク 防災調査票の作成

災害発生時の安否確認等のためには、日頃から地区居住者の把握をしておくことが必要である。そのため、防災調査票（様式1）により調査を行い、下記の用途に使用する。なお、この調査結果は公表するものでなく、自主防災組織会長が保管し、支援体制整備や災害発生時に役立てるものである。また、調査はあくまでも任意での協力をお願ひする。

- ① 災害発生時の地区住民の安否確認
- ② 災害発時に支援が必要であるか、また家族以外の者の支援が必要であるかの把握
- ③ 災害発時に、周りに対して支援協力が可能である者の把握
- ④ 災害発時や地域活動において役立つ特技や技能を持つ者の把握

ケ 出火防止の取組

大地震発生時等においては、火災の発生が被害を大きくする主な原因であるので、出火防止の徹底を図るため、毎月10日を「防災の日」とし、各家庭においては主として次の事項に重点

をおいて点検整備する。

- ① 火気使用設備器具の整備及びその周辺の整理整頓状況
- ② 可燃性危険物品等の保管状況
- ③ 消火器等消防資機材の整備状況
- ④ その他建築物等の危険箇所の状況

(3) 災害時の取組

ア 情報の収集・伝達

被害状況を正確かつ迅速に把握し、適切な応急措置を採るために、情報の収集・伝達を次により行う。

① 情報の収集・伝達

情報班員は、地域内の災害情報、防災関係機関等の提供する情報を収集するとともに、必要と認める情報を地域住民、防災関係機関等に伝達する。

② 情報の収集・伝達の方法は、電話、テレビ、ラジオ、有線放送、携帯無線機、伝令等による。

イ 避難誘導活動

災害により、地域住民の人命に危険が生じ、又は生じるおそれがあるときは、次により避難誘導を行う。

① 避難誘導の指示

大洲市から避難指示（緊急）等の避難情報が出たとき、又は地域において避難の必要を認めたときは、自主防災組織会長は災害応急対策班に対し避難誘導の指示を行う。

③ 避難誘導

災害応急対策班員は、自主防災組織会長の避難誘導の指示を受けた時は、住民を避難場所に誘導する。

緊急避難場所・指定避難所等一覧（資料7）

ウ 出火防止及び初期消火

消防団や消防車が到着するまでの間、地域住民が協力して、火災の延焼を防ぐため初期消火活動を行う。

地区別消火栓及び防火水槽位置図（資料8）

- ① それぞれの家庭において地震等により避難する場合は、ガスの元栓等を締める、電気ブレーカーを切るなどの出火防止に努める。
- ② 火災が起きた場合、消防署や消防団の活動がスムーズに行え

るよう、スペースの確保や火災が起きている住宅の情報（居住者数、夜間であれば寝室の位置など）収集を地域住民が協力して行う。

- ③ 大規模災害等により消防署等の到着が遅くなる、困難であると予想されるときは、地域住民が協力して地区所有の消防ホース等を使って初期消火活動にあたる。

エ 救出・救護

- ① 建物の倒壊、落下物等により、救出・救護を要するものが生じたときは直ちに救出・救護活動を行う。この場合、現場付近の者は、救出・救護活動に協力する。
- ② 災害応急対策班員は、負傷者が医師の手当てを要する者であると認めたときは、医療機関又は防災関係機関の設置する応急救護所に搬送する。
- ③ 災害応急対策班員は、防災関係機関による救出を必要と認めたときは、防災関係機関への出動を要請する。

オ 避難所開設・運営

災害の状況に応じて避難所を開設し、避難者の受け入れを行う。

復旧支援対策班が協力する。

- ① 避難所の開設は、市職員が配置され開設することになっているが、大規模災害等により市職員の配置が遅れる等の事態も想定し、あらかじめ定められた地域住民が避難所の安全（外観・内観の目視）を確認し、開設する。
- ② 避難住民の健康状況の確認をするとともに、避難者受付台帳を整備し、安否確認情報や避難者状況の報告に活用する。
- ③ 避難者の状況や人数は、備蓄物資の配布等にも必要なため、各班で情報が共有できるように掲示する。
- ④ 災害の状況により、避難所生活の長期化を考慮し、避難所運営はできる限り避難者が行えるようにリーダーを定め、役割分担等を行う。

カ 給食・給水（炊き出し等）

避難地域等における給食・給水は次により行う。

- ① 給食・給水班員及び復旧支援対策班員は、地域内の家庭等から食料等を確保し、配分、炊き出し等の活動を行う。
- ② 給食・給水班員及び復旧支援対策班員は、水道及び井戸等により飲料水を確保し、給水活動を行う。
- ③ 炊き出しについては、避難住民も含め当番制にし、一人当たりの負担を軽減する。

(4) 要配慮者の避難支援

災害時に大きな被害を受けやすいのは、高齢者や障がい者、子ども等、要配慮者である。こうした要配慮者を災害から守るため、皆で協力しながら支援を行う。

- アンケート等によりあらかじめ把握している情報をもとに、要配慮者の確認をして、地域の住民が協力して支援を行う。
- 災害の状況や被災地域及び被災するおそれのある地域などの情報を入手した場合、すぐに要配慮者及び避難支援者に連絡する。
- 地区住民から避難に関する支援、協力等の要望があった場合、災害応急対策班等と連携して対応する。
- 要配慮者の安否について、避難支援者や緊急連絡網を活用して確認を行う。

(5) 他組織との連携

防災訓練や災害時の応急活動については、他の自主防災組織やボランティア団体等と連携を図るものとする。

5 活動体制

(1) 本部の活動体制

| 平常時の活動 | 災害時の活動 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">○組織の運営指導○防災計画、組織員(班)の招集計画及び訓練計画等の立案○防災知識の普及、啓発○地域内の災害発生危険箇所の把握○要配慮者の把握○災害応急対策活動の検討○避難路の点検○避難場所の周知と現状の把握○資機材調達、整備の検討○各班における各種訓練の指導支援 | <ul style="list-style-type: none">○各支部、各班の動員要請○市の災害対策本部、消防署、消防団等の防災関係機関との連絡調整○各支部、各班との連絡調整○消防機関への通報（火災・救急救助等）○地区住民への支援要請○各種情報の収集、伝達、広報活動○避難所設置に伴う勧告等の伝達○資機材の調達、配分○避難所業務の支援○食料等の調達、配分 |

(2) 各支部・各班の活動体制

| 班区分 | 平常時の活動 | 災害時の活動 |
|--------------------|--|---|
| 情報班 | <ul style="list-style-type: none"> ○防災知識の普及、啓発 ○招集計画 ○地域内の災害発生危険箇所の把握 ○災害弱者の把握 ○広報活動 ○情報収集、伝達、通報訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ○各班の動員 ○各種情報の収集、伝達、広報活動 ○消防活動への通報（火災・救急救助等） ○地区住民への支援要請 ○本部への状況報告 ○避難所設置に伴う勧告等の伝達 |
| 災害応急対策班 | <ul style="list-style-type: none"> ○初期消火、応急手当等の訓練 ○資機材調達、整備の検討 ○避難路（所）の点検 | <ul style="list-style-type: none"> ○初期消火 ○負傷者等の救出活動と応急手当等の救護活動 ○消防機関への通報（火災・救急救護等） ○避難誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な避難場所の指示 ・要配慮者の避難の手助け |
| 復旧支援対策班 | <ul style="list-style-type: none"> ○避難場所の周知と現状 ○個人備蓄の啓発活動 ○資機材、技術者との連携検討 ○仮設便所対策検討 | <ul style="list-style-type: none"> ○避難所業務の支援 ○物資配分、物資需要の把握 ○応急修理の手伝い ○衛生対策 ○防犯巡回活動 |
| 給食・給水班 | <ul style="list-style-type: none"> ○炊き出し及び給水訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○炊き出し等の給食、給水活動 |
| その他地域の実情に応じ必要とされる班 | <p>○例えば、水害のおそれのある地区では水防班を設け、崖崩れ危険地区では巡視班等を設け、その役割を果たすために必要な平常時の活動及び災害時の活動を定める。</p> | |

6 活動目標と推進計画(5カ年計画)

- 防災知識の普及・啓発に関して次の活動を行う。

| 項目 | 具体的な内容 | 実施年度 |
|--------|-------------------|------|
| 防災チラシ | 防災チラシを作成・各戸配布する | |
| 講習会・訓練 | 講師を招き、講習会・訓練を開催する | |

○ 災害危険箇所の把握に関して次の活動を行う。

各支部ごとに危険箇所マップを作成する。

| 本 部 | 世帯数 合 計 | 構成人員合 計 | 内 容 | 予定年度 |
|------------------|------------|------------|------------|------|
| 大和地区 自主防災組織 | 4 6 1 | 1、110 | 危険箇所マップを作成 | |
| 支 部 名 | 世帯数 | 構成人員 | 内 容 | 予定年度 |
| 下平支部（94区） | 8 4 | 2 1 4 | 危険箇所マップを作成 | |
| 郷支部（95区） | 8 2 | 2 0 7 | 〃 | |
| 惣瀬支部（96区） | 5 6 | 1 5 6 | 〃 | |
| 柿の久保支部（9区） | 1 8 | 5 1 | 〃 | |
| 新造替地支部（9区） | 2 4 | 5 6 | 〃 | |
| 前奥支部（99区） | 4 3 | 8 4 | 〃 | |
| 穂積支部（100区） | 3 | 1 0 | 〃 | |
| 猪ノ尾地区（10区） | 6 | 1 1 | 〃 | |
| 大久保支部（10区） | 2 9 | 5 5 | 〃 | |
| 上成支部（103区） | 4 3 | 9 2 | 〃 | |
| 下成支部（104区） | 3 5 | 7 2 | 〃 | |
| 上老松支部（105区） | 1 2 | 2 4 | 〃 | |
| 大越支部（106区） | 6 | 1 2 | 〃 | |
| 前奥団地支部 (153区) | 2 0 | 6 6 | 〃 | |

※土砂災害危険箇所及び堤防決壊による予想浸水深図(資料1)参照

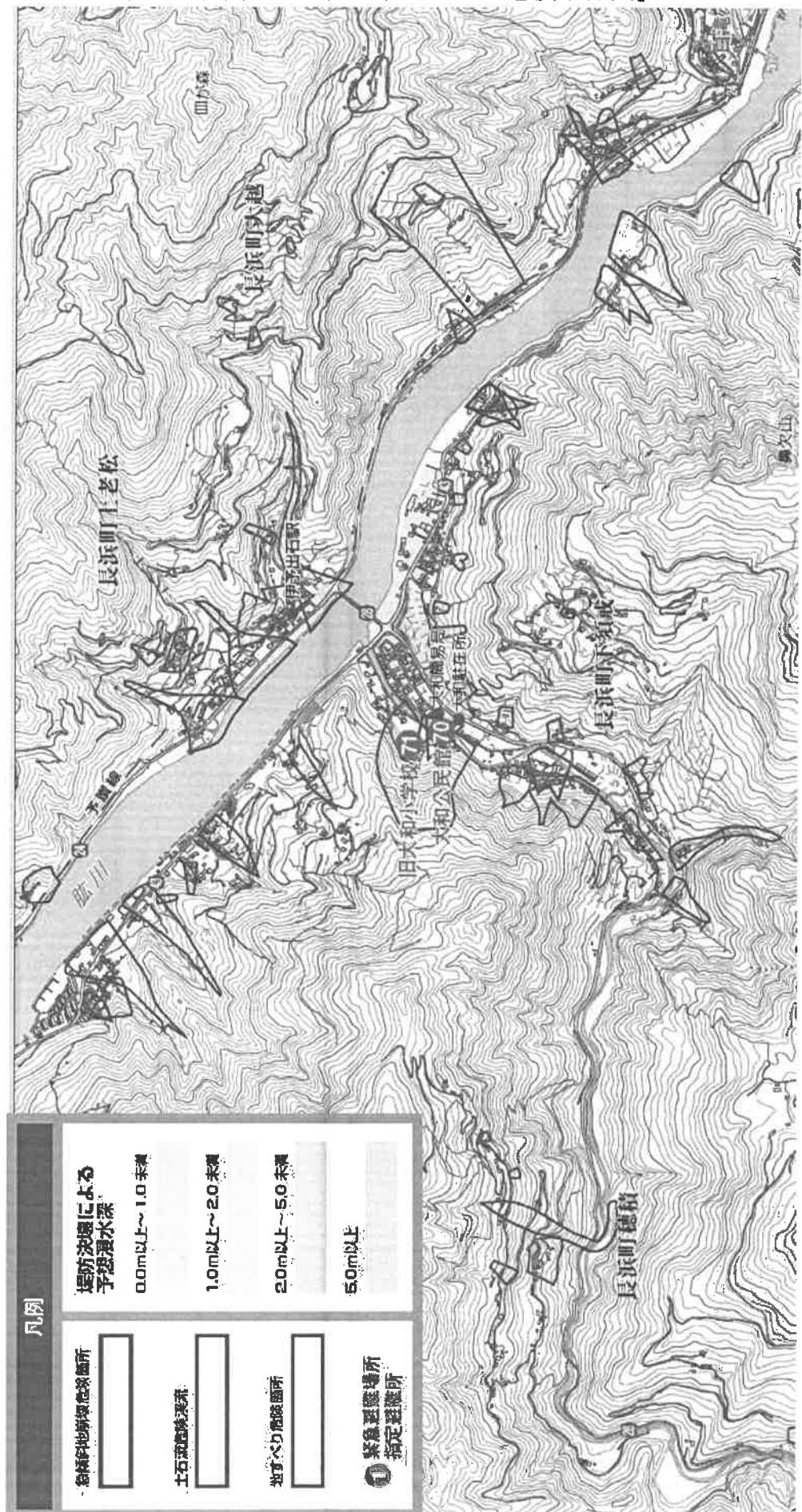
資料編

- 資料 1 土砂災害危険箇所及び堤防決壊による予想浸水深図
- 資料 2 地震震度想定図
- 資料 3 原子力災害避難区域図
- 資料 4 大和地区自主防災組織図兼連絡網
- 資料 5 防災資機材一覧
- 資料 6 災害用備蓄物資一覧
- 資料 7 緊急避難場所・指定避難所尾一覧
- 資料 8 地区別消火栓及び防火水槽位置図

様式編

- 様式 1 防災調査票

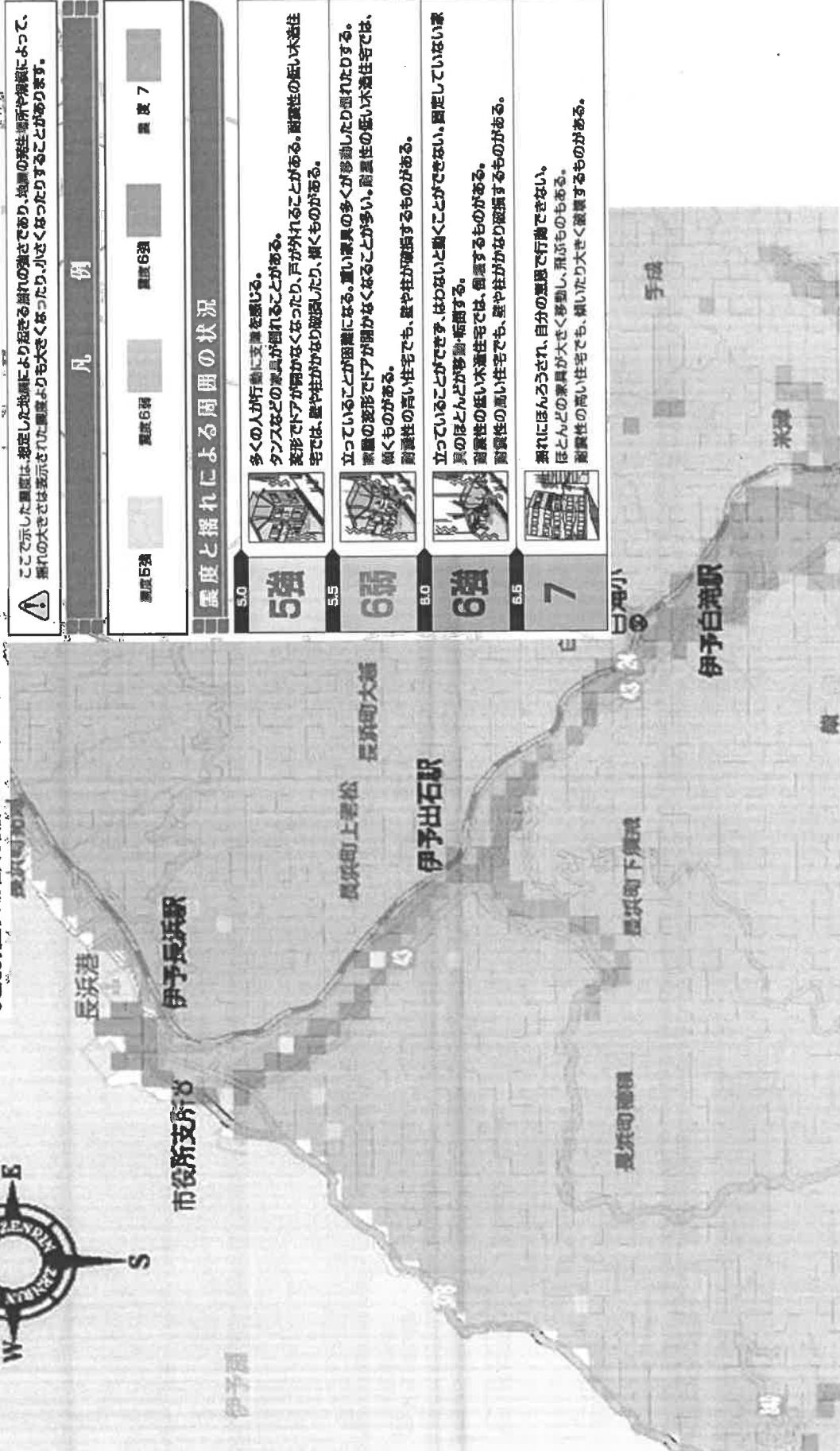
【資料1 土砂災害危険箇所及び堤防決壊による予想浸水深図】



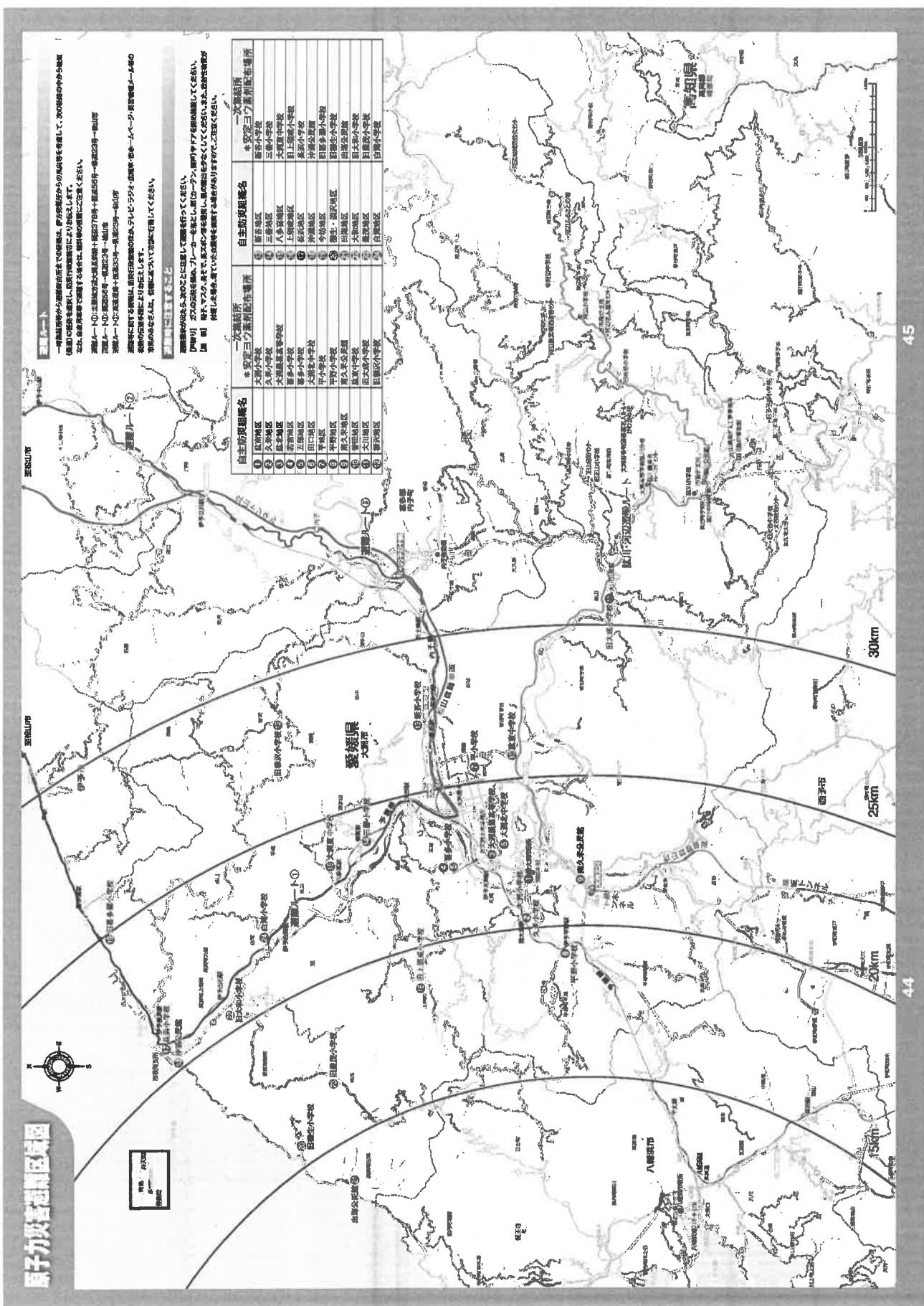
【資料2 地震震度想定図】

～南海トラフ巨大地震被害想定～

この地震震災マップは、南海トラフ(南海地震)を震源域とする最大クラスの地震が発生した場合に想定される、「震度分布(揺れやすさマップ)」を示したもののです。南海地震が発生した場合に想定される、揺れの大きさ(震度)を約50m四方のメッシュ単位で地図上に表しています。現時点の最新の科学的知見に基づき想定した、南海トラフで発生しうる震源域のことで、発生する可能性は極めて低いものの、平成23年に発生した東北地方太平洋沖地震を踏まえて、東海、東南海、南海地震の震源域をさらに拡大したものでの、ひどり発生すれば島大な被害をもたらす巨大地震です。



【資料3 原子力災害避難地域図】

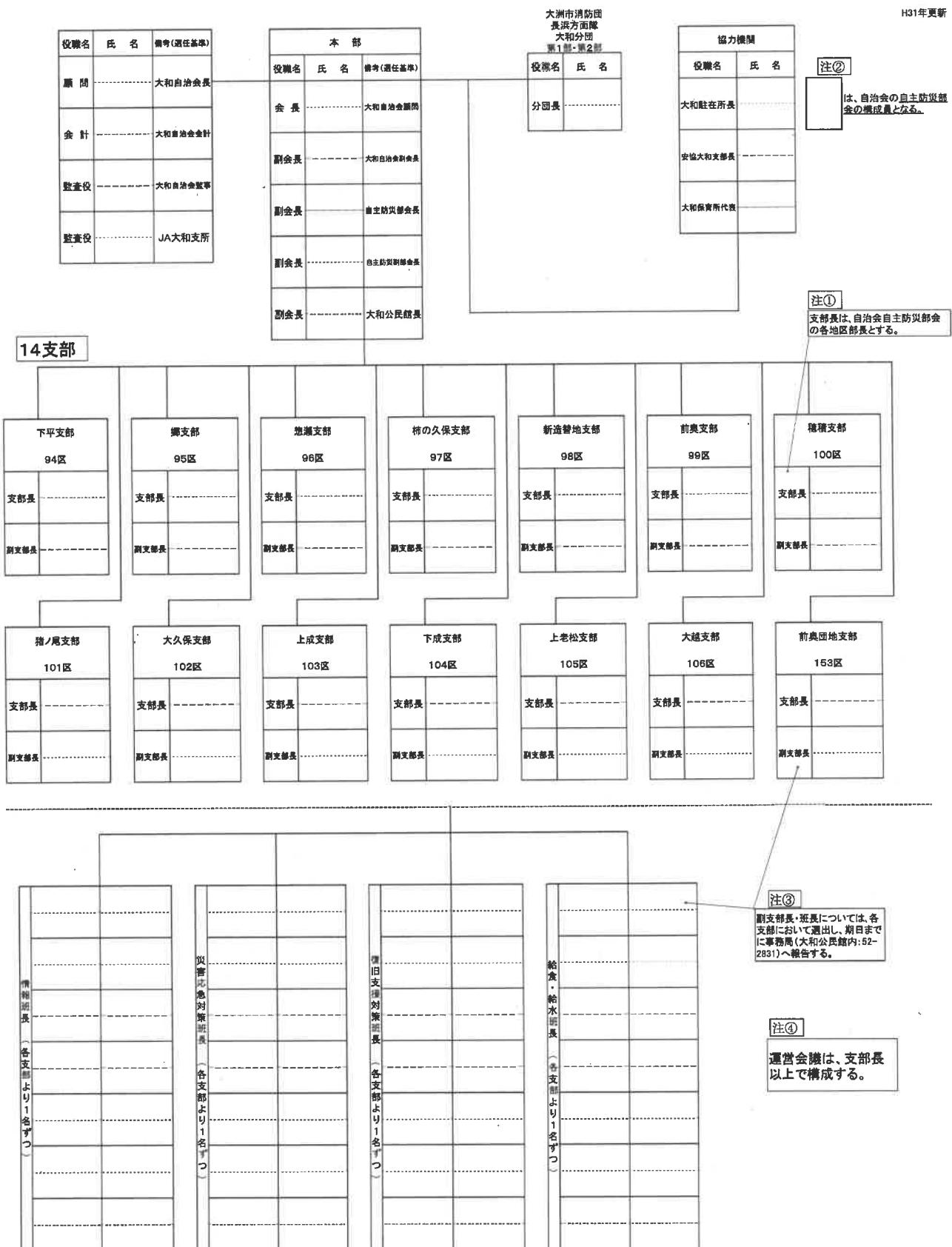


【資料4 大和地区自主防災組織図兼連絡網】

大和地区自主防災組織図

R2. ~ (順不同・敬称略)

H31年更新



※各班の総括については、必要に応じ班長の互選により総括班長を決定する。

※災害時等における各支部および各班の指揮は、被災支部の支部長(副支部長)および班長がとり、
その他の支部は応援にまわる。

※支部内においては、状況に応じて、各班の区分にかかわらず全員で協力し合う。

【資料5 防災資機材一覧】

令和2年12月現在

[資機材・備品]

| 項目 | 名称 | 数量 | 期限 | 所有 | 収納場所 |
|-------|---------------|-----|----|-------|--------------|
| 救出・救助 | アルミ2輪車 | 2 | | 自主防 | 郷地区自主防コンテナ倉庫 |
| 救出・救助 | 担架 | 2 | | 自主防 | 郷地区自主防コンテナ倉庫 |
| 救出・救助 | ハロゲン投光器セット | 3 | | 自主防 | 郷地区自主防コンテナ倉庫 |
| 救出・救助 | ヘルメット | 15 | | 自主防 | 郷地区自主防コンテナ倉庫 |
| 救出・救助 | リアカー | 1 | | 自主防 | 郷地区自主防コンテナ倉庫 |
| 救出・救助 | トランシーバー | 4 | | 自主防 | 公民館1階倉庫 |
| 救出・救助 | チェーンソー | 2 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 救出・救助 | ハロゲン投光器セット | 6 | | 大洲市 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 救出・救助 | ハロゲン投光器セット | 3 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 救出・救助 | ハロゲン投光器セット | 2 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 給水 | 10L給水袋 | 200 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 給水 | 20Lポリタンク | 4 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 給水 | 6L給水袋 | 400 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 水防 | 土のう袋 | 50 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 避難所 | テント | 4 | | 公民館ほか | 郷地区自主防コンテナ倉庫 |
| 避難所 | テント用おもり | 12 | | 自主防 | 郷地区自主防コンテナ倉庫 |
| 避難所 | 簡易トイレ(処理袋) | 300 | | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 避難所 | 簡易便器 | 3 | | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 避難所 | トイレ用テント | 1 | | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 避難所 | 簡易トイレ | 10 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 避難所 | コードリール(屋外・防雨) | 5 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 避難所 | パーソナルテントMタイプ | 4 | | 大洲市 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 避難所 | 発電機(1.6kVA) | 2 | | 大洲市 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 避難所 | 発電機(1.6kVA) | 1 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 避難所 | 発電機(1.8kVA) | 1 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |
| 避難所 | 組み立て式多目的ルーム | 2 | | 自主防 | 公民館裏大洲市防災倉庫 |

【資料6 災害用備蓄物資一覧】

令和2年12月現在

[飲食備蓄]

| 項目 | 名称 | 数量 | 期限 | 所有 | 収納場所 |
|------|--------------|-----|-------|-----|---------|
| 備蓄飲料 | 保存飲料水(2ℓ) | 75 | R8.7 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 備蓄飲料 | 保存飲料水(2ℓ) | 75 | R10.2 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 備蓄飲料 | 保存飲料水(500ml) | 300 | R8.8 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 備蓄飲料 | 保存飲料水(500ml) | 300 | R10.2 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 備蓄食料 | アルファ米 | 75 | R6.7 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 備蓄食料 | カンパン | 75 | R5.12 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 備蓄食料 | カンパン | 75 | R7.9 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 備蓄食料 | ビスケット | 75 | R6.1 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 備蓄食料 | ビスケット | 75 | R7.9 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 備蓄食料 | 備蓄パン | 75 | R6.8 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 備蓄食料 | 備蓄パン | 75 | R7.11 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |
| 備蓄食料 | レスキューライス | 75 | R10.1 | 市補助 | 公民館1階倉庫 |

【資料7】 緊急避難場所・指定避難所一覧

●市指定緊急避難場所 【長浜地域】

| No. | 施設名 | 住所 電話番号 | 想定 収容 人数 | 洪水 | 土崖 石崩 流れ等 | 高潮 | 地震 | 津波 | 大規 模火 災 |
|-----|----------------|-----------------------------|----------------|----|-----------------|----|----|----|---------------|
| 1 | 長浜スポーツセンター 駐車場 | 長浜甲 19番地8 52-2712 | 4,400 | | ○ | | ○ | | ○ |
| 2 | 県立長浜高等学校 運動場 | 長浜甲 480番地1 52-1251 | 18,400 | | ○ | | ○ | | ○ |
| 3 | 長浜中学校 運動場 | 長浜甲 1番地 52-0303 | 24,600 | | ○ | | ○ | | ○ |
| 4 | 長浜小学校 運動場 | 長浜甲 190番地 52-0073 | 9,800 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 | 喜多灘ふれあい広場 | 長浜町今坊甲 1154番地 52-1367 | 18,600 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6 | 櫛生ふれあい広場 | 長浜町櫛生乙 141 番地 52-0012 | 8,800 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 7 | 出海ふれあい広場 | 長浜町出海乙 4番 地 53-0116 | 6,600 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 8 | 大和ふれあい広場 | 長浜町下須戒甲 669 番地 5 52-2831 | 10,600 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 9 | 豊茂ふれあい広場 | 豊茂甲 532番地 57-0302 | 5,800 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 10 | 白滝ふれあい広場 | 白滝甲 557番地2 54-0302 | 14,600 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 11 | 戒川ふれあい広場 | 戒川乙 903番地 54-0350 | 8,400 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 合 計 | | 11施設 | 130,600 | 8 | 9 | 8 | 11 | 8 | 11 |

※想定収容人数の算定基準：1人あたり 0.5 m²

●市指定避難所 【近隣】

| No. | 施設名 | 所在地 | 電話番号 | 想定収容人数 |
|-----|------------|-------------------|---------|--------|
| 1 | 長浜体育館 | 長浜甲 489 番地 1 | 52-1111 | 110 |
| 2 | 長浜ふれあい会館 | 長浜甲 727 番地 2 | 52-1210 | 230 |
| 3 | 長浜スポーツセンター | 長浜甲 19 番地 8 | 52-2712 | 790 |
| 4 | 県立長浜高等学校 | 長浜甲 480 番地 1 | 52-1251 | 877 |
| 5 | 長浜中学校 | 長浜甲 1 番地 | 52-0303 | 820 |
| 6 | 長浜小学校 | 長浜甲 190 番地 | 52-0073 | 740 |
| 7 | 大和公民館 | 長浜町下須戒甲 668 番地の 1 | 52-2831 | 170 |

※想定収容人数の算定基準：1人あたり 2 m²

●福祉避難所 【近隣】

※ 福祉避難所は、要配慮者（高齢者、障がい者など避難所での生活において特別な配慮を必要とする人）を収容し、避難者の相談に応じたり、必要な生活支援を行います。

| No. | 施設名 | 所在地 | 電話番号 | 想定収容人数 |
|-----|-------------------------|--------------|---------|--------|
| 1 | 養護老人ホームさくら苑 | 大洲市柴甲1402-3 | 59-7010 | 43 |
| 2 | 大洲市長浜保健センター | 大洲市長浜甲576 | 52-3055 | 99 |
| 3 | 介護老人保健施設 長浜ひまわり | 大洲市柴甲1422番地3 | 59-7220 | 15 |
| 4 | 小規模特別養護老人ホーム 清祥会ひまわり | 大洲市柴甲595番地1 | 54-0500 | 17 |
| 小計 | | 4施設 | | 174 |

●原子力災害に伴う避難所等

市が指示する避難区域 (大和地区)

○下須戒 94 区、穂積 100・101・102 区…15 km～20 km 【避難区画 2】

○下須戒 95～99 区、大和団地 153 区…15 km～20 km 【避難区画番号 3】

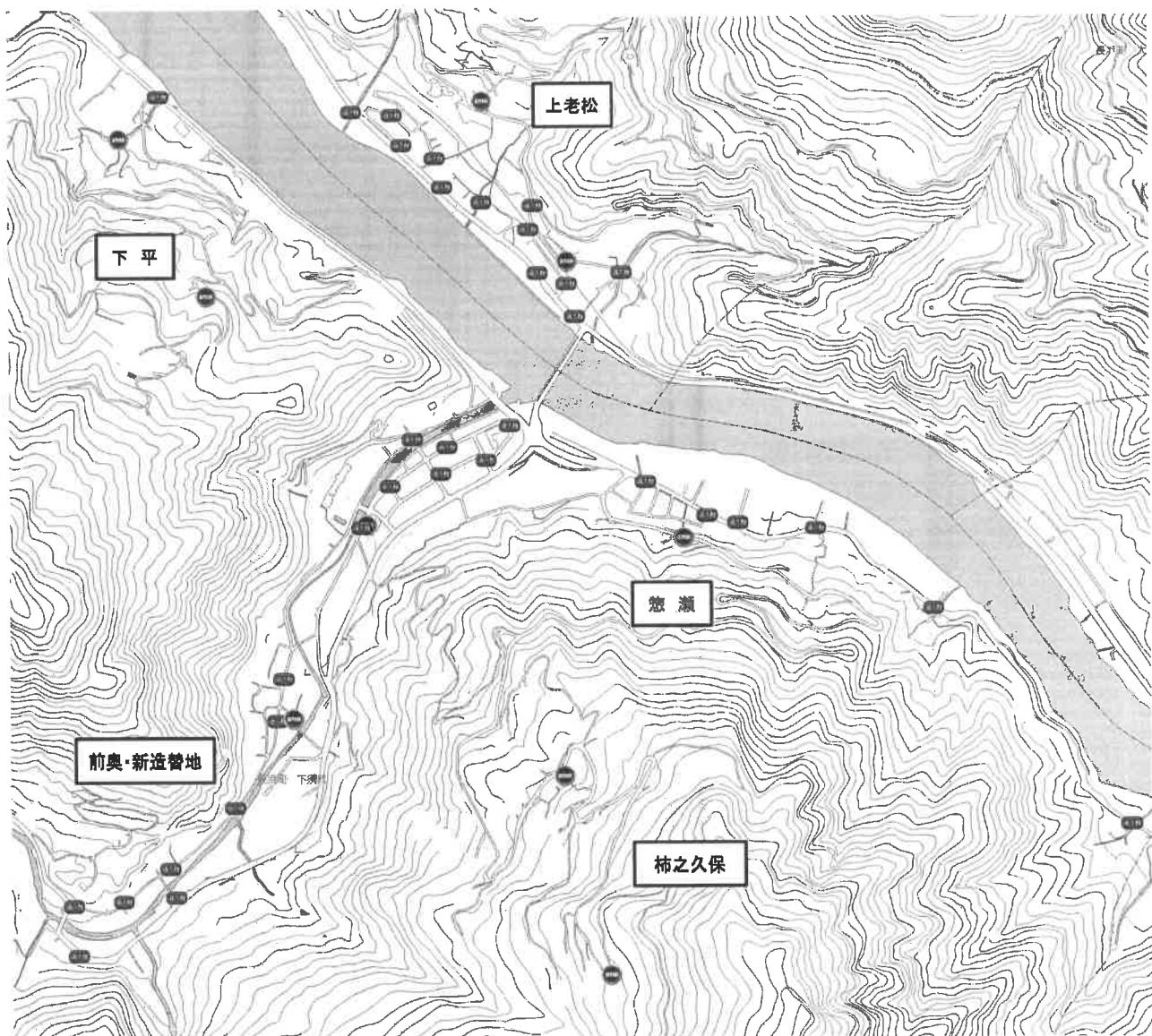
○上老松 103・104・105 区、大越 106 区…20km～25km 【避難区画番号 8】

| 大和地区 (14 区) | | 住 所 | 電話番号 |
|-----------------------|-------------------|----------------------|--------------|
| 一時集結所 (安定ヨウ素剤配布場所) | 大和公民館 | 長浜町下須戒甲 668 番地の 1 | 52-2831 |
| 避難経由所 | 愛媛県総合運動公園 | 松山市上野町乙 46 番地 | 089-963-3211 |
| 広域避難場所 | 松山市 県立松山中央高等学校 | 松山市井門町 1220 番地 | 089-957-1022 |

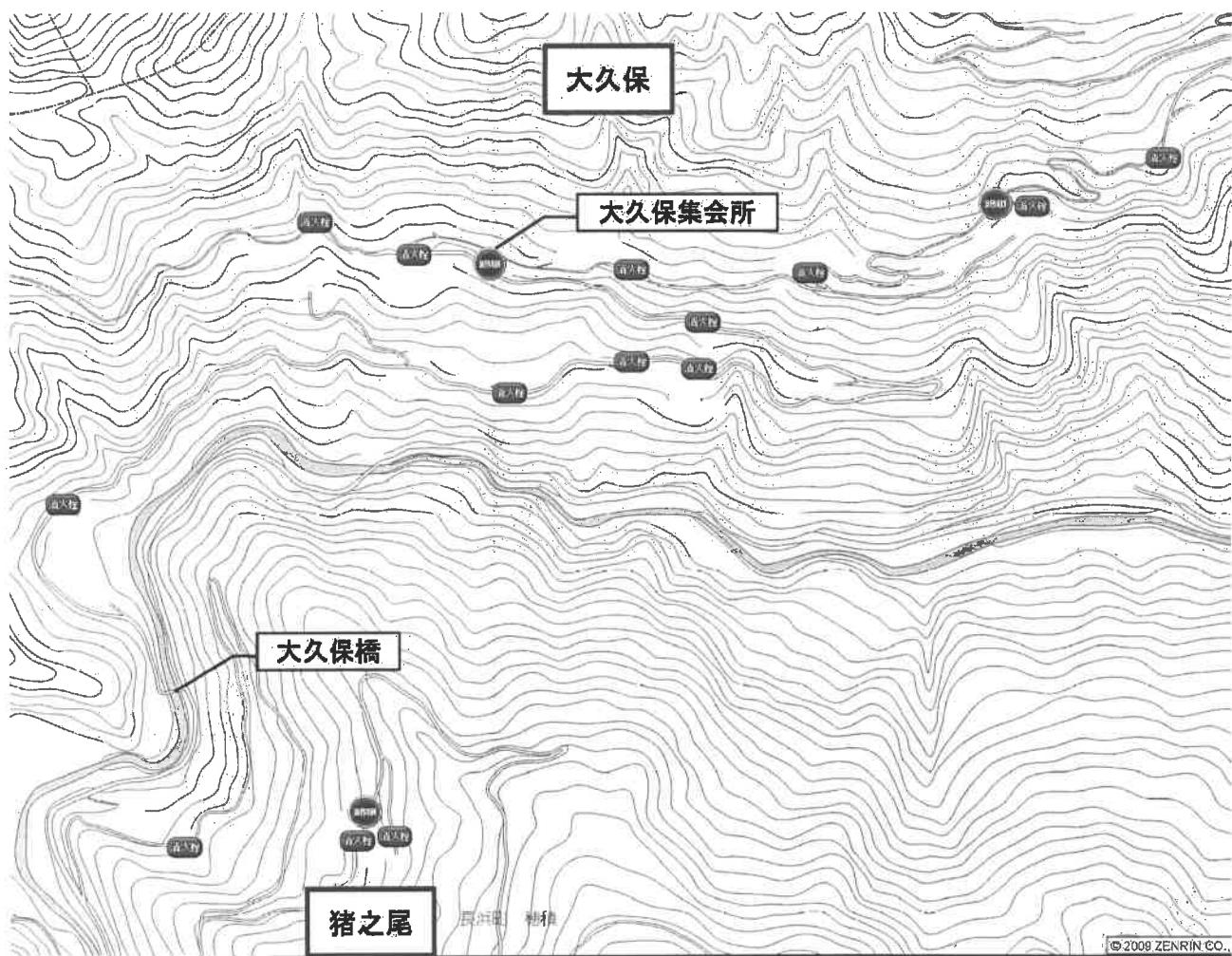
一時集結所とは？…自主防災組織単位で 1箇所指定。屋内退避指示の発令時等において、屋内の構造や複合災害時の被災状況等により、自宅において屋内退避が困難と判断した方や高齢者等で避難に不安がある方に集まっていただく施設。避難指示発令時には、県や市の手配するバス等により、広域避難を実施するための住民等を受け入れる地域における原子力災害時の防災拠点施設のこと。

【資料8 地区別消火栓及び防火水槽位置図】

●下平・郷・惣瀬・柿之久保・新造替地・前奥・上成・下成・上老松



●猪之尾・大久保



(様式 1)

防災調査票 ◎

| | | | | | | |
|--|----|----|------|--|----|-----------|
| 住所 | | | | 電話番号 | | |
| 氏名 | 性別 | 続柄 | 生年月日 | | 年齢 | 備考（携帯番号等） |
| 世帯主 | | 本人 | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 大規模な災害が発生したとき ご家族に支援を必要とする方が同居されていますか。 (チェックしてください) | | | | <input type="checkbox"/> 同居している (氏名) 支援理由などご記入下さい。 | | |
| 大規模な災害が発生したとき ご近所の支援を必要とする方々の安全確認や、避難支援にご協力いただけますか。 また、地域での防災活動にもご協力いただけますか。 (チェックしてください) | | | | <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 既に登録している <input type="checkbox"/> 支援に協力する <input type="checkbox"/> 防災活動にも協力する <input type="checkbox"/> 協力できない ご協力いただける方のお名前をお書き下さい。 (氏名) | | |
| 防災上役立つ資格・技能などありましたらご記入ください。 | | | | | | |
| 防災上での、ご家族における課題や希望などありましたらご記入下さい。 | | | | <input type="checkbox"/> ペット飼育 種類 <input type="checkbox"/> 同行避難 その他 | | |

役立つ資格等の例 元消防団・看護師・助産師・整体整骨師・栄養士・調理師・介護士・アマチュア無線資格など

防災調査票作成のお願い

この調査票の説明は次の通りです。

- 1 災害発生時に地区居住者の安否確認を行うためには、人數の把握をしておくことが必要です。
- 2 災害発生時に支援を要する方がおられるか、またご家族以外の支援が必要かを把握し、支援対策の整備を行いたい。
- 3 災害発生時に、周りに対して支援協力ができる方がおられるかを把握して、支援対策の整備を行いたい。
- 4 災害発生時や地域活動において役立つ特技や技能を持った方を把握し、いざという時にご協力をお願いしたい。

このような観点からこの調査を行いたいと思います。また、この調査内容は公表するものではなく、自主防災組織会長が保管し、支援対策整備や災害発生時に役立てるものです。

任意ですが、ご協力をお願いします。

なお、携帯番号等、書ける場合のみお書き下さい。

提出先